

単3中性線欠相保護付漏電遮断器組込みにおける絶縁測定について

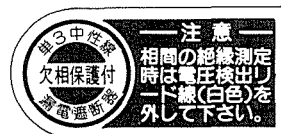
単3中性線欠相保護付漏電遮断器組込みの住宅用分電盤における負荷回路の絶縁測定は、大地間の絶縁測定はそのままですが相間の絶縁測定は遮断器から出ています白色リード線（電圧検出リード線）を外してから測定して下さい。誤って絶縁測定をされても遮断器は破損しませんが正規の

値ができません。

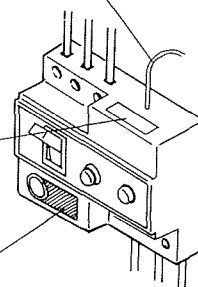
組込みの遮断器の表面に測定上の注意を記入したシールが貼付してありますので個別にご確認いただきその内容にそった測定を実施して下さい。



中性線電圧検出リード線
(中性線負荷側母線に接続して下さい。)



電圧検出リード線(白色)
(負荷側N極へ接続)



フリースペースへの機器取付けについて

分電盤の通電電流に大きく影響を及ぼすような分岐回路の増設は避けて下さい。

●フリースペースに組込むことができる機器はJWDS0007(日本配線器具工業会規格・住宅用分電盤)では、

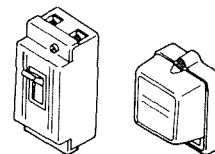
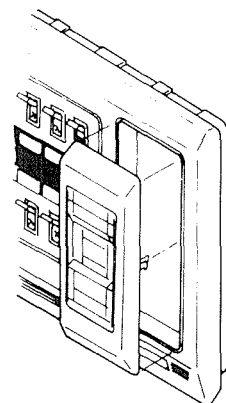
- ①別系統の電源の引込開閉器
 - ②分岐開閉器の2次側に設けられる機器
 - ③分岐回路数が右表をこえない範囲での分岐回路の増設
 - ④負荷電流が1A以下の小勢力回路を母線に直接接続して設ける機器。
- に限られますのでご注意下さい。

●単相3線式回路で主開閉器の付いた住宅盤の最大分岐回路数

主開閉器の定格電流	分岐回路数
30A	※ 6(10)
40A	12
50A, 60A	16
75A	18
100A	24

注) ※漏電遮断器取付の場合10回路

●深夜電力回路、チャイムトランス等の弱電回路等の取付けにご利用下さい。



200V切替方法について

テンパール住宅用分電盤の200V切替は容易にできるよう設計されていますが、特にプラスチック製住宅用分電盤Jシリーズ及びiシリーズはワンタッチで切替えることができます。

200V回路には必ず2P2E(当社製B-2E型またはB-2H型)安全ブレーカをご使用下さい。

①Aねじを外しBねじをゆるめバーを半回転させます。

②半回転させたバーをL₂の母線にのせます。そしてバーとL₂母線をAねじで固定し、Bねじも締め付けると200V切替えが完了します。

